

## unysizeSDK for iOS Swift 用サンプルコードについて

unysizeSDK for iOS Swift を使用して unysize の各機能を利用するための簡単なサンプルアプリケーションのプロジェクトです。unysizeSDK を Swift で実装する場合の実装サンプルとして、また、機能テスト用としてご利用いただけます。

※ SDKに付属している「導入手順」「SDKリファレンス」も合わせてご確認ください。

## 使用しているSDK

- unysizeSDK for iOS Swift

※ unysizeSDK の利用には unysize が発行したクライアント識別ID（CID）が必要です。

## プロジェクト内の主なファイル

- ViewController.swift  
UnizeBanner Class の実装を確認いただけます。
- CVTagTestViewController.swift  
UnizeCVTag Class の実装を確認いただけます。
- Main.storyboard  
サンプルで使用している ViewController のストーリーボードが含まれています。

## プロジェクトの設定

USBでiPhone実機を繋いで起動する場合は、事前に プロジェクトの設定 > Signing & Capabilities の Siging > Team を設定して下さい。（シミュレーター上での起動の場合は不要です。）

## unysizeバナーの表示テスト

unysizeSDK Sample App > unysizeSDK Sample App > ViewController.swift  
L28～付近

下記の部分に「クライアントID」、「アイテム識別ID」を設定して起動して下さい。  
unysizeバナーが表示されます。

```
var cid: String = "" // クライアントID
var itm: String = "" // アイテム識別ID
var cuid: String = "" // クライアント会員ID
var lang: String = "" // 表示言語(オプション)
```

## CVタグの発火テスト

unysizeSDK Sample App > unysizeSDK Sample App > CVTagTestViewController.swift L27～付近

下記の部分に「クライアントID」、「クライアント会員ID」、「購入ID」、「購入数」、「アイテム識別ID」、「価格」、「サイズ」を設定して起動すると、画面表示時にCVタグが発火します。

※実際に購入として集計されるため、起動する場合は、unysize が発行したテスト用クライアント識別ID (CID) を使用して実行して下さい。

```
let cid: String = "" // クライアントID (makip発行のクライアント個別ID)
let cuid: String = "" // クライアント会員ID (ユーザーを識別する固有ID)
let purchaseid: String = "" // 購入ID (注文時に発行される固有ID)
let itemnum: [String] = [] // 購入数 (商品ごとにString配列で渡します。)
let itemid: [String] = [] // アイテム識別ID (商品ごとにString配列で渡します。)
let price: [String] = [] // 価格 (商品ごとにString配列で渡します。)
let size: [String] = [] // サイズ (商品ごとにString配列で渡します。)
let iteminfo: String = "" // itemnum、itemid、price、sizeを1つにまとめたデータで送信する場合
let iteminfojson: String = "" // itemnum、itemid、price、sizeを1つにまとめたJSONデータで送信する場合
let regType: String = ""
```